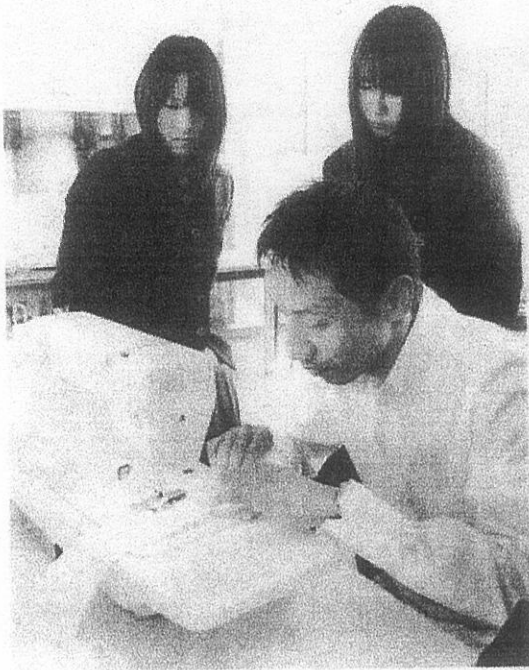


ミシンの使い方を指導する「HITOYOSHI」
工場長の竹長さん=あさぎり町



人吉市で有名ブランドシャツの縫製業を営む「HITOYOSHI」の竹長一幸工場長(43)と馬水尚江さん(41)が9日、あさぎり町の南稜高で生活経営科の2年生27人にシャツ作りを指導した。同社は親会社の経営破綻で危機に追い込まれたが、技術力を生かして2009年に独立。社会貢献と会社のPRを兼ねて授業を申し入れた。

鮮やかプロの技

人吉市の縫製会社

南稜高生にシャツ作り指導

竹長さんから「人気タレントがテレビドラマで着用したシャツと同じデザイン」と説明を受け、生徒たちは襟の縫製に挑んだ。検定で作るシャツと比べ数段難しく、返し縫いをして飾り縫いをするなどの作業に四苦八苦。ミシンを鮮やかに扱う竹長さんたちの様子に驚いていた。

「作業は複雑で難しいけど、カッコいいシャツになりそう」と椎葉菜美子さん(17)。シャツ作りは予定の半分ほどしか進まなかったため、工場でも手を加えた上で今後の授業で完成させる。

竹長さんは「職業としてのこだわりを持った縫製を知ってほしい。職業体験で工場に来てもらうなど交流を続けたい」と話していた。
(山口尚久)